

業務名:

## (1) 設計業務「詳細設計」採点表 ③ [技術検査職員 (第三次評定者)用]

(1/1)

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
				優 標準 劣								
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	評価細目チェック数 = 0 ⇒「0.2」 = 1 ⇒「0.4」 = 2 ⇒「0.6」 = 3 ⇒「0.8」 = 4 ⇒「1.0」					□ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 □ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし、必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 □ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)		
					チェック数							
			十分な技術力	50	評価細目チェック数 = 0 ⇒「0.2」 = 1 ⇒「0.4」 = 2 ⇒「0.6」 = 3 ⇒「0.8」 = 4 ⇒「1.0」					□ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 □ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 □ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)		
					チェック数							
		小計	100	(3)								
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性	100	評価細目チェック数 = 0 ⇒「0.2」 = 1 ⇒「0.4」 = 2 ⇒「0.6」 = 3 ⇒「0.8」 = 4 ⇒「1.0」					□ ・質問に対し的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 □ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 □ ・説明の際に相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 □ ・説明当事者の説明が十分なされた。又は説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。		
					チェック数							
		小計	100	(3)								
結果評価	成果物の品質	目的の達成度	的確な取りまとめ	40	評価細目チェック数 = 0 ⇒「0.2」 = 1 ⇒「0.4」 = 2 ⇒「0.6」 = 3 ⇒「0.8」 = 4 ⇒「1.0」					□ ・設計図書に提示された項目が漏れなく実施された。 □ ・業務遂行段階での指示事項が漏れなく実施された。 □ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 □ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注)		
					チェック数							
		ミスの有無	的確な取りまとめ	30	評価細目チェック数 = 0 ⇒「0.2」 = 1 ⇒「0.4」 = 2 ⇒「0.6」 = 3 ⇒「0.8」 = 4 ⇒「1.0」					□ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなく取りまとめている。 □ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 □ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられやすい。 □ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。		
					チェック数							
			小計	100	(3)							

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

所見 (※必ず記載すること)	
-------------------	--